

原田市長の

さんぽみち 散歩道



最近、小・中学生が「いじめ」によって自殺する事件が相次ぎ、社会的に大きな課題になっている。

滋賀県大津市では、学校が事実を正確に把握し、正直に公表しなかったため、市長や教育長が謝罪を繰り返す、マスクでも大きく取り上げられた。

この事件によって、文部科学省では、全国一斉に「いじめの実態調査」を行った。調査の結果、袋井市でも「いじめ」があったことが分かり、教育委員会では、早速「いじめから子どもを守るメッセージ」を作り、班内回覧によって市内の全家庭にも「いじめ」をなくすことをお願いした。

強い者が弱い者に対して行う「いじめ」は、良くないことであるが、残念ながら、昔から「いじめ」もあつた。

この「いじめ」は、子ども同士ばかりではなく、職場や家庭、地域の中にも存在する。

なんと、牛の世界でさえ、強い方からの序列が決まっています。牛舎へ新しく入った牛は、順序が決まるまでの間は苦労すると言われたことがあつた。

しかし、今、小・中学校で起こっている「いじめ」は、逃れるすべがなくて自殺に追い込まれたり、人格がひどく傷つけられたりしてしまつたなど、余りにも結果が悲惨なため、社会全体で「いじめをなくす」ことに取り組むこととなった。

秋の色が濃くなって、市内の各地から祭りの太鼓や笛の練習の音が、虫の声とともに聞こえてくる。

袋井の秋祭りは、全員参加型で、地域ごとに学年を超え、世代を超えて一緒に屋台を引きまわすのが特徴である。

上級生が下級生の、あるいは祭青年が小・中学生の話相手となり、世話をすることも祭りの時期だからこそできることである。

普段、会話をしたことのない者同士や悩みがあつても口に出さない子どもも、祭りならではの雰囲気の中で、軽いノリで話すことがいかに場面もあるのだ。

祭青年や地域の皆さんの協力で、袋井の秋祭りを通じて「いじめ」の発見と解決のための小さな鈴を付けることができれば、今の時代において、何にもまして価値のあることになると思っています。

「いじめ」



青菜のチーズあえ

旬の食材を使ったレシピ

●材料(4人分)

- ほうレンソウ …… 1/2束
- しょう油 …… 小さじ1/2
- 長イモ …… 120g
- キュウリ …… 1/2本
- 梅干し …… 1個
- カッターチーズ …… 100g
- ちりめんじゃこ …… 大さじ2
- 白ごま …… 大さじ1

●作り方

- ①ほうレンソウは塩少々を加えた熱湯でゆでて5cm長さに切り、しょう油であえる。
- ②長イモは皮をむいてビニール袋に入れ、すりこぎでたたいて崩す。
- ③キュウリは半月切りにする。
- ④梅干しは種を取って包丁でたたく。
- ⑤ボウルにすべての材料を入れてあえる。

●栄養価(1人分)

エネルギー74kcal / たんぱく質5.8g / 脂質2.8g / カルシウム79mg / 鉄1.5mg / ビタミンC21mg / 食物繊維2.3g / 塩分0.9g

●食推協からのコメント

ほうレンソウには東洋種と西洋種があり、葉のギザギザで見分けられます。

毎月19日は、「食育の日」



食材まめ知識

ほうレンソウの渋みはシュウ酸によるもので、胆のうに石がたまる「胆石」の原因になります。ほうレンソウを調理する際は、あく抜きをしてから使用しましょう。

袋井市の木・花・鳥のイメージデザイン



市の木:キンモクセイ



市の花:コスモス



市の鳥:フクロウ

市の木・花・鳥それぞれの特徴を見やすくシンプルに表現し、「FUKUROI」の「F」を図案化しました。



浅羽記念公園の野外彫刻を鑑賞する工藤教授と子どもたち

8月21日・22日、市の進める「芸術とふれあふまけしゅくろい」の一環として「夏あそびdays」が行われ、市内の小中学生と東京藝術大学の工藤晴也教授、助手・学生の皆さんが、芸術を通じた交流を行いました。

子どもたちは、野外彫刻の鑑賞をしたりモザイク画の制作に挑戦したりしたほか、夜は工藤教授たちを囲む「ふれあいの集い」で親交を深めていきました。

表紙の「いじめ」